

事例②

通級指導教室における、自分の気持ちを伝えたり、話を聞いたりするのが苦手な子どもへの指導の工夫

授業づくりの視点

◆経験の浅い先生たち、学級でこんなこと感じていませんか？

- 友だちと上手にコミュニケーションが取れず、よくトラブルになる子どもにどうやって他者との関わり方を指導したらよいか分からない。

① 自立活動の時間における指導

◆例えば、「自立活動」で、こんなことからはじめてみましょう。

- 自立活動「話そう！ 聞こう！ ゲームを楽しもう！」 □ 小学校 □ 通級指導教室（自閉症）

本時の目標

- ・日常生活の様々な場面に応じてよりよい行動を考え、相手の気持ちを意識しながら自分の思いや考えを言葉で伝えることができる。

ファーストステップ②

- ・実際に教師や他の児童と関わりながら学べるようにしましょう。



	学習活動	手立て／留意点
導入	○ 本時の流れの確認 ○ これまでの学習の振り返り ○ <u>一週間の出来事を発表する。</u>	※板書に示す ※発表の順番や、質問の仕方を示す。
展開	○ 本時の学習課題 ・相手の気持ちを意識しながら自らの思いや考えを言葉で伝える。 ○ イラストを見て会話を考える ・具体的な場面を見て会話を考え、やりとりしながら発表する。 ・望ましい会話について考えをまとめる。 ○ <u>会話の実践</u> ・ゲームの種類を決める話合いを行う。 ・カードゲームに取り組む。	※話形や会話の例を板書に示す。 ※頷きながら傾聴する。 ※3種類のカードゲームから、話合いで一つのゲームを決める。
終末	○ 振り返り	

ファーストステップ③

- ・児童が話しやすい雰囲気をつくりましょう。
- ・児童同士が、話合いを実践できるようにするなど、学んだことを実際に使える場面を設定しましょう。

ファーストステップ①

- ・本時の流れを 示し、児童が 見通しをもてるようにしましょう。
- ・発表や会話の仕方の 具体例を示すなど、児童の課題に応じた支援をしましょう。

